

ひの

広報

1月号
2003年 NO. 588

ひのちよう



発行・日野町役場 〒689 4503 鳥取県日野郡日野町根雨 101 TEL (0859) 72-0332・FAX 72-1484 編集・企画振興課
ホームページ <http://www.town-hino.com/> 電子メール info@town-hino.com 印刷・株式会社高下印刷



冷たい日野川の水につかりながら「エイ、ヤー」と気合を入れる

心と体を鍛える

恒例の空手寒げいこ

一年の精進を誓い、一月二十六日、空手寒げいこ（全日本少林寺流空手道錬心館阪奈地区本部鳥取支部音田守支部長）が開かれまし

た。今年で十九回目となる寒げいこには、道場に通う子どもや大人ら三十人が参加しました。

日野農業構造改善センター（鳥取西部農協日野町支所）で、けりや突きなどの基本練習で汗を流し、板やかわらの試割を披露しました。

試割は、自分で枚数を決めて挑戦。気合を入れて打ち込むと、見事に板が割れ、保護者たちから大きな拍手が起こっていました。

その後、全員が野田橋下の日野川までランニング。さっそく川の中へ入り、身の切れるような冷たい水にも負けず「エイ、ヤー」と大きな掛け声とともに気合を入れて打ち込みをしました。

けいこを終えた子どもたちは「始めは冷たかったけど、集中したらそんなことも忘れた」と話していました。

今月の主な内容

- 2003年にかける …… 2P
- 新春の抱負 日野町長 …… 4P
- 町消防出初め式 …… 5P

2003年にかける

まちを代表して4人に今年の抱負をインタビュー

平成15年(西暦2003年)の新しい年を迎え、まちを代表して4人の方に今年の抱負を語っていただきました。



趣味で毎日が生きいき 塚本正夫さん

みんなの笑顔が一番の喜び

塚本正夫さん(舟場 79歳)

職場では何の仕事をして

日野町役場の健康福祉課で保育、児童手当など児童福祉関係の仕事をしています。勤めてからもうすぐ四年になりますが、町のことについて、まだ知らないこともあるので勉強していきたいです。

趣味は

ソフトテニスと買い物です。テニスは、九歳のころから続けていて、今でも県内外の大会に出場しています。適度な運動をして、汗を流すことが好きです。私の健康の秘けつ

は、そこにあるかも知れませぬね。

今年の抱負は

今年は、年女(未年)になります。いつも笑顔をやさず元気いっぱい日々を過ごしたいです。海外旅行をして世界の文化を体験するなどいろいろ挑戦したいです。

また、仕事の面では、住民の皆さんから信頼される職員になりたいです。児童福祉関係で、分からないことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

元気の秘けつは

多くの趣味を持つていることですかね。陶芸、盆栽、ゲートボール、野菜作りなどしながら、毎日を楽しく過ごしています。多くの趣味により、人との出会いやきずなが強くなりました。どこに行っても仲間がいるということは、とてもうれしいことです。

陶芸はいつから

十数年前にすばらしい作品に出会い、始めました。家には窯もあります。毎年、千支を作っています。酉(平成五

今年の抱負は

陶芸から多くのことを学びました。経験した技術や喜びを多くの人に伝えたい。これからいろいろな作品づくりに挑戦していきたいです。

信頼される役場職員に

谷口理恵さん(黒坂 23歳)



自分自身もっと勉強を 谷口理恵さん

吹奏楽部に入部した理由は「音楽を聞くのが好きで、自分でも演奏してみたかったからです。たくさん部の活があるけど迷わず入部しました。男性は私だけですが、別に意識していません。楽しく部活をしています。」

何を演奏していますかー

金管楽器の低音域を受け持つ「チューバ」を演奏しています。大きい楽器なので肺活量が必要で難しいです。初めて音が出た時は、とても感動しました。深い音の響き

が、とても気に入っていて、良きパートナーです。

どんな時が楽しいですかー

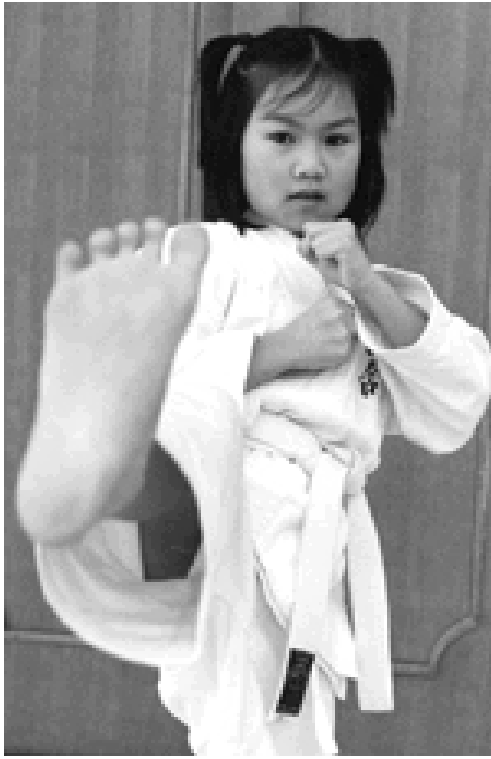
みんなと演奏がうまく合った時や想像した音が出た時がうれしいです。演奏に没頭している時間が楽しいです。

今年の抱負はー

今年も中国大会に出場し、がんばって金賞を獲得したいです。入部した時に聞いた先輩の奏でるチューバの音が忘れられません。自分もその音に近づきたいです。

心と体をもっと強く

西村美香さん（下榎 9歳）



精神的に強くなった 西村美香さん



チューバは良きパートナー 梅林洵一さん

自分の音色を奏でたい

梅林洵一さん（黒坂 14歳）

空手は、いつからー

六歳の時から空手をしています。お兄ちゃんが空手をする姿を見てかっこいいと思ったのがきっかけです。

空手していて感じたことはー

礼儀作法とかが厳しくつらい時もあります。でも、集中力がついたし、我慢強くなりました。試合で板が割れた時がうれしいです。

好きな遊びはー

ボールを使った遊びが好きで、友だちとポトボールな

どをして遊んでいます。

町に何がほしいですかー

大きな公園とか広い体育館があればいいなと思います。みんなで遊びたいです。

今年の抱負はー

昨年の空手大会は、準優勝だったので、心と体を強くして、今年は優勝したいです。勉強では、苦手な国語を得意にしたいです。将来は先生が薬剤師になりたいです。そのためにも勉強をがんばりたいです。

わたし
私
の
抱
負
の
こ
ん
な
年
に

健康で明るいまちづくりを推進

平成 15 年
新春の抱負

日野町長 梅林 豊

新春を迎え、梅林豊日野町長に今後の抱負を聞きました。

町長就任して以来
課題に全力を注ぐ

昨年、町長に就任以来町政の重要課題である震災復興、市町村合併、福祉のまちづくり、農林業の振興、生活環境の整備、町の財政健全化など多くの課題に全力を注ぎ、町政を進めてきました。格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

震災復興も
順調に進む

平成十二年十月に発生した鳥取県西部地震から早二年三か月が過ぎようとしています。復興にあたりましては、国や県を始めボランティアの方々などの多くのご支援、ご協力をいただきました。また、住民の皆さんのご努力によりまして、昨年十二月末現在で、住宅復興の進捗率も九十五分を越え、順調に復興しているところでありませう。

地産地消を基本に
産業の進展に期待

地震で大きな被害を受けた農業用水路などの復旧もほぼ完了し、以前のように水稻の作付けが可能となり、農家の皆さんも安心されていることと思えます。これを機会に新たな視点で、基幹産業である農林業の振興を推進し、地域や集落を守り、地産地消を基本とした各種産業の進展を期待しています。

創意工夫で
ニーズに対応

経済は、依然として厳しくデフレが進み、景気回復の見通しが不透明の中、本町は、超高齢社会を迎えようとしています。また、厳しい財政状況や地方自治のあり方を再認識し、福祉、医療、人権、環境、教育を重点施策としながら、今までの施策についても見直し、創意工夫により小さな経費で大きな効果を求め、住民ニーズに対応します。

市町村合併は
早急に結論を

市町村合併につきましては、昨年からの説明会の開催、意識調査を行い、皆さんの意向をお聞きしながら取り組んでまいりました。合併は相手があることで、合併が単独かの方向が決らないのが実情ですが、早急に結論を出し、地域の生活基盤などを確固たるものにしていきたいと考えています。

一人ひとりが主役
健康と福祉のまち

住民の皆さんには、行政に関心を持っていただき、恵まれた郷土の自然と共生を図り、一人ひとりが主役の「健康で明るいまちづくり」を重点課題としながら、災害に強い快適なまちづくりを進め、「愛と元気な日野町」を目指します。今後も皆さんのご理解とご支援をお願い申し上げます。



今年一年の防火、防災を誓う

新春を飾る

町消防出初め式



雪が舞う中、板井原川に向かって一斉放水する町消防団員ら

今年一年の防火、防災を願
い、町消防出初め式（宮脇光
男団長）が、一月五日、根雨
小学校体育館で開かれました。
式は、初めに功績のあつた
団員が表彰されました。

梅林町長が「今後も地域住
民の生命、財産を守り、被災
で得た教訓を生かしていただ
きたい」とあいさつし、宮脇
団長が「いざという時のため
日ごろから体制を整え、尽力
してほしい」と新年の決意を
述べました。

その後続いて、根雨神社前
から本陣の門前まで宮脇団長
を先頭に団員、ポンプ車など
七台が参加する分列行進が整
然と繰り広げられました。さ
らに、町消防団五台、西部広
域消防一台の車両で、根雨上
橋付近の町道根雨一号線（根
雨一区）から板井原川に向け
て一斉放水をしました。

町消防団（団員七十三人）は、
それぞれが仕事を持ちながら
いざという時のため、夜間訓
練をするなど日々努力してい
ます。

おめでとー

いづれいませす

今回表彰を受けたのは、
次の方々です。（敬称略）

町長表彰 十年勤続〓佐々木
恭義、佐々木信也、安達勝己、
西村敏幸 六年勤続〓宮脇慎
治、西村和宏、西田顕一 三
年勤続〓高崎徹、藤原康洋、
青砥光良、矢田貝智章、池田
俊弘、矢田貝慎一、渡部裕之、
伊田喜浩、生田安彦、小谷勉
景山政之、三好達也、山縣実
神崎猛、川上茂芳、吉原尚志
県知事表彰 功績章〓遠藤伸
二、継岩亨、山川洋介、前川
澄哉
団長表彰 奥田研二、佐々木
信也、小谷晋、生田真一、神



宮脇団長を先頭に分列行進

崎猛、吉原尚志
県消防協会会長表彰 功績章〓
西村和行

県西部消防協会会長表彰 功績
章〓竹永明文、高橋八郎、西
村敏幸 勤続章〓谷口陸夫、
谷口佳史、飛田朋伸



功績のあつた団員が表彰される

第1回

町議会臨時会

平成十五年第一回日野町議
会臨時会が、一月十六日に開
かれました。

今回は、日野町特別医療費
助成条例の一部を改正につい
て審議されました。



貴重な資料なので作業も慎重に

ボランティアセンターでは、町歴史民俗資料館に保管してある民具等の整理をするボランティアを募集し、十二月から作業に取りかかりました。町の歴史を学んだり昔の民具などに触れることで、もっと町のことを知ってほしいと中学生、高校生たちにも呼びかけたところ十二人の参加がありました。

また、一月も引き続き作業をし、二十一日には、根雨地区婦人会の皆さんも参加され、隅々までふき掃除などしていただきました。今後も活動者を募集しています。

十二月は、町歴史研修会の川上さんや一般のボランティアの人たちと一緒に収蔵庫の整理と館内の民具を分類して保管場所に運んだり、床もていねいに雑きんがけをしたりしました。



中学生も大人と一緒に資料整理に参加

ボランティアセンターから こんにちは

町歴史民俗資料館の整理が始まる

12月 ボランティア活動状況

依頼件数 11件
 活動件数 9件
 活動人数 84人(町外 24人)
 引越手伝い 歴史資料館整理
 可燃粗大ゴミ処理 雪かき

中学生の感想から

館内の民具を二階から一階に運び、何回も階段を上り降りして普段使わない筋肉が、筋肉痛になりそうまで疲れました。床にたまったほこりは、一度には取れなく、掃除機がゴミを吸い込む音の大きさに驚きました。掃除してきれいになりました。(Y)

2月の高齢者プレゼント企画 参加者募集

大山おこわと手作りカード
 2月8日(土)
 12時30分～
 ボランティアセンター集合



えと 干支 今年は無年 ひつじ

羊が家畜化されたのは今から八千年以上も昔といわれています。馬が家畜化されたのが五千年前ですから、羊と人間との付き合いはかなり長いことになります。日本には、西暦五百九十九年、推古天皇の時代に、百済から二頭の羊が贈られたと、日本書紀に記されています。

現在では、北海道などを中心に一万一千頭あまり飼育されています。羊には「おとなしい」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりも私たちが実感できるのは、ウールのセーターなどの「羊製品」です。羊からは、衣・食・住に関する様々なものが作られています。羊毛は衣類や寝具に、毛脂はせっけんや化粧品に、肉は様々な肉料理に、皮はバッグや敷物に、腸はテニスラケットのガットに、乳はヨーグルトなどの乳製品に、といった具合です。十二支の中では比較的なじみの薄い羊でも、私たちの身の回りにはたくさん「羊」がいます。

文化センター・ホール ボランティア募集

2、3月に講習会を開催予定
文化センターでは、催しの受付や駐車場誘導、託児、生け花など多くのボランティアの皆さんにご協力いただいています。また、舞台や照明、音響など特殊な技術が必要なものについては、初心者の方にも分かりやすい講座も開く予定にしています。興味のある方は、一緒にやってみませんか。
問合せ先 町文化センター
電話 72 - 1300



布えほんの会

2 / 6 (木) 13:00 ~
フェルト・ボタン・ひもなどを使って作る「花びらあそび」
参加してみたい方は図書館へ。

一九八〇年代初頭、中国湖南省の険しい山岳地帯を仕事場とする、年老いた一人の郵便配達人がいた。送る人、受け取る人の思いをつなぐ手紙を、大きなリユックに詰め込んで、何日もかけて配達する。愛犬「次男坊」とともに、山から谷へ、川を横切り、ふたたび山へ。
そして今日。退職を前にした最後の配達に、年若い一人息子を連れて行く。妻と息子へのいたわりの言葉を胸に秘めて、仕事を息子に引き継ぐために。二人は折にふれ、山里に住む人々の一途な心情と素朴さを肌で感じ、少数民族の美しい少女との出会いを通して、しだいに打ち解け、心を通わせていく。

図書館・ホール森の音楽隊



文化センターだより

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp



日時 3月9日(日) 13:30 ~ (字幕)
場所 町文化センター
料金 500円
(図書館、町公民館などでお求めください)
主催 日野町
後援 日野国際交流協会
町小中PTA連絡協議会・根雨地区婦人会
根雨郵便局・黒坂郵便局

3/9
(日)

山の郵便配達

99年中国金鸡賞(アカデミー賞)受賞作品

親から子へ、世代を越えて継がれる郵便配達の仕事、変わるこ
とのない家族の姿を描いた中国映画の名作「山の郵便配達」を上
映します。ぜひ、お誘い合わせてお出かけください。

あらすじ

インターネットで蔵書検索をどうぞ <http://ascpcenter.infosakyu.ne.jp/ilis/hino/top.htm>

図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

印が休館日です

木のおもちゃづくり
2月16日(日)
10:00 ~

図書館おはなし会
2月22日(土)
14:00 ~

図書館展示コーナー

日野町の古城址^{あと}
町歴史研修会
1/22(水) ~
2/10(月)

日野川
フォトコンテスト
入選作品展
2/13(木) ~
2/20(木)



話題があふいたら
企画・授業課まで
TEL 72-0332

盤上で熱い対局

新春囲碁・将棋大会

囲碁、将棋を通して親睦を深めようと、第二十六回新春囲碁・将棋大会（町同和对策推進協議会主催）が、一月十二日、町老人憩の家で開かれました。

この日は、囲碁・将棋の愛好者十九人が参加。盤上で熱戦が繰り広げられました。参加者は、一手一手を集中して指していました。

成績は次のとおりです。

（敬称略）

囲碁の部

Aクラス

優勝〓小谷豊（下榎） 二位

〓西村正満（下榎） 三位

遠藤均（榎市）



各クラスに分かれて真剣な対局が繰り広げられる

Bクラス

優勝〓金谷豊（根雨） 二位

〓森吉紀久夫（根雨） 三位

〓長住武義（金持）

将棋の部

優勝〓中原孝博（下榎） 二位

〓谷口祥侍（下榎） 三位

〓中原信男（下榎）



新しい気持ちで筆を運ぶ会員ら

新たな気持ちで

日本語教室で書き初め

伝統文化に親しんでもらおうと、一月十四日、日本語教室（日野国際交流協会主催）が、山村開発センターで開かれました。

この日は、同会員らが参加して書き初めが行われ、新たな気持ちで筆を運びました。参加した外国語指導手のヘレンさんは「書道は三回目です。字の止めやはねが難しいです」と書き初めに挑戦していました。

同協会は、毎月、日本語を学ぶ日本語教室や季節を通して日本の文化を伝えようと、さまざまな催しを開き国際交流を図っています。

古くから伝わるたこづくりに挑戦

子どもたち十五人が参加。たこづくり教室

子どもたちに昔の遊びに親しんでもらおうと、十一月十一日、たこづくり教室が、山村開発センターで開かれました。子ども週末活動（町子ども週末活動支援ボランティアセンター主催）のこの日は、十五人の小学生らが参加。講師に松本節哉さん（本郷）を迎え、古くから伝わるたこづくりに挑戦しました。

子どもたちは、竹ひごを作ることから教えてもらい、下に絵に好きな色を塗って自分だけのたこを作りました。

参加した音田光一さん（高尾）は「竹ひごを曲げるところが難しかった。早く自分の



小刀を使い竹ひごを作るところから挑戦

講師の松本さんは「子どもたちに、地域の伝統を伝えていきたい。そして、物を作る喜びを感じてほしいです」と話していました。

町子ども週末活動支援ボランティアセンターは、昨年からは始まった完全学校周五日制に伴い、地域の教育力向上、子どもの健全育成を図ろうと町公民館に設置されました。

子ども週末活動は、自然・社会体験、ボランティア活動などさまざまな活動を支援しようとして、毎月開かれています。

おはなしの部屋で 温かい気持ちに

大人と子どものお話し会

絵本やわらべうたに親しんでもらおうと、一月十七日、大人と子どものお話し会が、町文化センターで開かれました。

この日は、四十人の子どもや大人が参加。全国各地で、絵本の講演活動やお話を語っている落合美知子さんを招き「ねずみのすもむ」などのお話しや「おおさむ こさむ」などのわらべうたを一緒に歌い楽しい時間を過ごしました。参加者は「とても温かい気持ちになりました」などと感想を話していました。



落合さんと一緒にわらべうたを歌う

一年の収穫を喜ぶ

根雨小もちつき大会



掛け声を合せ、楽しそうにもちをつく児童ら

元気でいい年を過ごそうと、一月二十日、根雨小学校もちつき大会（佐々木史子校長）が、同体育館で開かれました。保護者たちの声援を受けながら、全校生徒百三十四人が学年別に分かれて約六〇キログラムのもちをつきあげました。児童は「自分たちが育てたもち米が食べれてうれしい」と喜んでいました。つきあがったもち米は、ぜんざいや雑煮などにして食べました。

もち米は、勤労生産学習の一つで、同学校近くの水田（約五アル）で児童たちが、五月に田植えをし、十月に収穫しました。

大きなボールが 空中に舞う

「キンボール」で楽しむ

体力増進を図ろうと、一月二十日、二十二日、ニユースポーツ講習会「キンボール」が、日野中学校体育館で開かれました。

キンボールは、直径一メートル二センチの大きなボールを相手コートに打ち、そのボールが床に落ちるまでにキヤッチする新しいゲームで、体力に合せて、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツです。

二回開かれた講習会には、延べ三十人が参加。町体育指導委員の指導を受けながら、さわやかな汗を流しました。



新しいスポーツでさわやかな汗を流す

差別の現実深く学び、暮らしに生かす

第二十七回日野町人権・同和教育研究集会

差別のない明るいまちづくりを推進しようとして、一月二十四日、第二十七回町人権・同和教育研究集会を、町文化センターを主会場に開きました。

開会行事では「暮らしに生かす人権・同和教育の実践を」と基調提案がされました。講演には、解放社会学研究



活発な意見が飛び交う分科会

所長の江嶋修作さんを迎え「輝いて生きるために」と題し、話を聞きました。江嶋さんは、結婚差別の事例などを通して「差別には理由も根拠もない。正しい考えを持つているだけは、役に立たない。その時、具体的に行動できなければ何もならない」と話されました。

その後、参加者は、各会場で各グループに分かれ「自身の中にある差別意識を見つめ直しながら、身の回りの差別を点検し、愛と元氣な町づくりを目指す」をテーマに課題や今後の取り組みについて活発な意見を出し合いました。



「差別には根拠がない」と語る江嶋さん

獅子舞いで 新しい年が明ける

県内外から多くの参拝客が訪れる「金持神社」



神社でおはらいを受けた後、笛と太鼓に合わせて舞う金持青年会による「獅子舞い」

平成十五年の新春を迎えた一月一日、全国でも一つしかない縁起の良い名前で知られる「金持神社」の初詣に、県内外から多くの人が訪れ、にぎわいました。

元旦恒例の金持青年会による「獅子舞い」を一目見ようと境内は、参拝客でいっぱい。獅子舞いが登場すると真剣に見入っていました。

獅子舞いは、境内で奉納の舞を終えると、無病息災を祈願して同地区の全戸を回りました。

参拝に訪れた姫路市の高井章さんは「縁起を担いで、四年前から毎年来ています。今年は、健康で明るい年にしたいです。伝統の獅子舞いを見に来年も来ます」と新年の抱負を話していました。



「良い年に」無病息災を祈願

わたしの町

(12月末日現在)

人口	4,506人(前月比±0)
男性	2,130人(-3)
女性	2,376人(+3)
世帯数	1,581戸(+5)

オシドリニユース

〜一万人を目指して〜

昨年と比べるとオシドリの行動範囲が広がったように思われます。安全地帯を見つけては移動しています。日野川は母なる川、野鳥の楽園として大事にしたいですね。ところで、一月一日、観覧者五千九百の方々に記念品を贈呈しました。今シーズンは一万人を目指しています。オシドリ観察にぜひお越しくください。連絡先オシドリグループ事務局 森田(七二 二七二)



名和町のおしどり夫婦 太田さん、めでたく5,000人目

〜十二月中届出分〜

(敬称略)

赤ちゃん誕生

おめでと〜ございませう

(出生児)	(保護者)	(性別)	(住所)
川上慶子	敦史・智子	女の子	本郷
西村綺音	貴志・聖子	女の子	安原

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名)	(年齢)	(住所)
大西千枝子	八二歳	黒坂
青木 伸二	六九歳	根雨
山田美代子	七二歳	貝原

編集後記 空手寒げいこの取材で、写真を撮ろうと川の中へ「冷たいより痛い、指が震えてシャッターが」身を切る冷たさで足は真っ赤に。空手の皆さんは平然。何事も日々の鍛錬が大切だと痛感しました。



みんなそろってグッドモーニング 撮影 浦部二郎さん(江府町)